

NA150MC

取扱説明書



この説明書は、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。
本装置をご使用になる前に本書を必ずお読みください。

使用上のご注意 ～必ずお読みください～

本装置を安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。
また、安全上の注意は必要時にはすぐに読み返すようにしてください。







安全にかかわる表示について

本装置を安全にお使いいただくために、本書の指示に従って取り扱ってください。
本書には本装置のどこが危険でどのような危険に遭うおそれがあるか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。また、本装置内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。
本書および警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。





 警告	人が死亡する、または重傷 ^(※1) を負うおそれがあることを示します。
 注意	人が軽傷 ^(※2) を負う可能性が想定される内容、および物的損害 ^(※3) のみの発生が想定される内容を示しています。

- ※1. 重傷 : 失明、けが、火傷(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院や長期の通院を要するものをさしています。
- ※2. 軽傷 : 治療に入院や長期の通院を要さないけが、火傷、感電などをさしています。
- ※3. 物的損害 : 家屋、家財および家畜、ペットなどにかかわる拡大損害をさしています。

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。







	行為の禁止	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	(例) 分解禁止 
	注意の喚起	この記号は、危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	(例) 感電注意 
	行為の強制	この記号は行為の強制を表します。記号の中や近くの絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	(例) (プラグを抜け) 

(取扱説明書での表示例)

注意を促す記号	危険に対する注意の内容	危険の程度を表す用語
		注意
  	指定のコンセントに差し込む 指定された電圧のコンセントをお使いください。指定以外で使うと火災や漏電の原因となります。	

本書および警告ラベルで使用する記号とその内容



行為の禁止

	本装置を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。		水や液体がかかる場所で使用しないでください。水にぬらすと感電や発火のおそれがあります。
	火を近づけないでください。発火するおそれがあります。		ぬれた手で触らないでください。感電するおそれがあります。
	指定された場所には触らないでください。感電や火傷などの傷害のおそれがあります。		特定しない一般的な禁止を示します。




注意の喚起

	発煙または発火のおそれがあることを示します。		感電のおそれがあることを示します。
	けがをするおそれがあることを示します。		高温による傷害を負うおそれがあることを示します。
	爆発または破裂のおそれがあることを示します。		特定しない一般的な注意・警告を示します。

行為の強制

	本装置の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。		特定しない一般的な指示を示します。
---	--	---	-------------------

本書では安全にかかわる注意記号の他に 3 種類の記号を使用しています。これらの記号と意味をご理解になり、装置を正しくお取り扱いください。

	装置の取り扱いや、ソフトウェアの操作で守らなければならない事柄や特に注意をすべき点を示します。
	装置やソフトウェアを操作する上で確認をしておく必要がある点を示します。
	知っておくと役に立つ情報や、便利なことなどを示します。

安全上のご注意

本装置を安全にお使いいただくために、ここで説明する注意事項をよく読んでご理解し、安全にご活用ください。記号の説明については ii ページの「安全にかかわる表示について」を参照してください。

全般的な注意事項

警告



人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しない

本装置は、医療機器・原子力設備や機器、航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みやこれらの機器の制御などを目的とした使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用した結果、人身事故、財産損害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。



分解・修理・改造はしない

絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。装置が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。



煙や異臭、異音がしたまま使用しない

万一、煙、異臭、異音などが発生した場合は、ただちに電源を OFF にして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。



針金や金属片を差し込まない

通気孔などのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電の危険があります。

注意



日本国外で使用しない

本装置は、日本国内用として製造・販売しています。日本国外では使用できません。この装置を日本国外で使用すると火災や感電の原因となります。



装置内に水や異物を入れない

本装置内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、ただちに電源を OFF にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。分解しないで販売店または保守サービス会社にご連絡ください。



ラックの設置・取り扱いに関する注意事項（ラック搭載時）



定格電源を越える配線をしない

火傷や火災、装置の損傷を防止するためにラックに電源を供給する電源分岐回路の定格負荷を超えないようにしてください。なお、電気設備の設置や配線に関しては、電源工事を行った業者や管轄の電力会社にお問い合わせください。



1人で搬送・設置をしない

ラックの搬送・設置は2人以上で行ってください。ラックが倒れてけがや周囲の破損の原因となります。特に高さのあるラック(44Uなど)はスタビライザなどによって固定されていないときは不安定な状態にあります。必ず2人以上でラックを支えながら搬送・設置をしてください。



荷重が集中してしまうような設置はしない

ラック、および取り付け装置の重量が一点に集中しないようスタビライザを取り付けるか、複数台のラックを連結して荷重を分散してください。ラックが倒れてけがをするおそれがあります。



1人で部品の取り付けをしない

ラック用のドアやトレイなどの部品は2人以上で取り付けてください。部品を落として破損させるばかりでなく、けがをするおそれがあります。



ラックが不安定な状態で装置をラックから引き出さない

ラックから装置を引き出す際は、必ずラックを安定させた状態(スタビライザの設置や耐震工事など)で引き出してください。ラックが倒れてけがをするおそれがあります。



複数台の装置をラックから引き出した状態にしない

複数台の装置をラックから引き出すとラックが倒れてけがをするおそれがあります。装置は一度に1台ずつ引き出してください。

電源・電源コードに関する注意事項



ぬれた手で電源プラグを持たない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。



指定のコンセントに差し込む

指定された電圧のコンセントをお使いください。指定以外で使うと火災や漏電の原因となります。



たこ足配線にしない

コンセントに定格以上の電源が流れることによって、過熱して火災の原因となるおそれがあります。



電源コード部分を持って引き抜かない

電源コードを抜くときは電源プラグ部分を持ってまっすぐに引き抜いてください。電源コード部分を持って引っ張ったり電源プラグ部分に無理な力を加えたりすると電源コード部分が破損し、火災や感電の原因となります。



中途半端に差し込まない

電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。中途半端に差しこむと接触不良のため発熱し、火災の原因となることがあります。また差し込み部にほこりがたまり、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。



指定の電源コードを使う

本装置に添付されている電源コードをお使いください。
電源コードに定格以上の電流が流れると、火災の原因となるおそれがあります。
また、電源コードの破損による感電や火災を防止するために次の注意をお守りください。

- コード部分を引っ張らない。
- 電源コードを折り曲げない。
- 電源コードをねじらない。
- 電源コードを束ねない。
- 電源コードを踏まない。
- 損傷した電源コードを使わない(損傷した電源コードはすぐ同じ規格の電源コードと取り替えてください。交換に関しては、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。)
- 電源コードをはさまない。
- 電源コードに薬品類をかけない。
- 電源コードに上にものを載せない。
- 電源コードを改造・加工・修復しない。
- 電源コードをステープラなどで固定しない。



添付の電源コードを他の装置や用途に使用しない

添付の電源コードは本装置に接続し、使用することを目的として設計され、その安全性が確認されているものです。決して他の装置や用途に使用しないでください。火災や感電の原因となるおそれがあります。

 **注意**



フロントマスクを持って運ばない

本製品を運ぶときはフロントマスクに手をかけて持ち上げないでください。本製品を落としたり、フロントマスクを壊したりするおそれがあります。装置の持ち上げ、移動の際は、装置の底面をしっかり持って持ち上げてください。



指定の場所に設置・使用・保管する

本装置を次に示すような場所に置かないでください。火災や故障の原因となるおそれがあります。

- ほこりの多い場所
- 給湯器のそばなど湿気の多い場所
- 直射日光が当たる場所
- 不安定な場所
- 外部より衝撃や接触を受ける場所



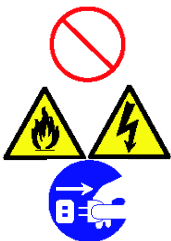
腐食性ガスの存在する環境で使用または保管しない

腐食性ガス(二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど)の存在する環境に設置し、使用しないでください。また、ほこりや空気中に腐食を促進する成分(塩化ナトリウムや硫黄など)や導電性の金属などが含まれている環境へも設置しないでください。装置内部のプリント板が腐食し、故障および発煙・発火の原因となるおそれがあります。もしご使用の環境で上記の疑いがあるときは、販売店または保守サービス会社にご相談ください。



急激な温度変化環境で開梱または使用しない

本装置は、急激な温度変化を受ける環境で開梱または使用しないでください。結露により、故障および発煙・発火の原因となるおそれがあります。温度変化があった場合は、馴染み時間(放置時間)を十分にとってから開梱または使用してください。



電源プラグを差し込んだままインタフェースケーブルの取り付けや取り外しをしない

インタフェースケーブルの取り付け／取り外しは電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源を OFF にしても電源プラグを接続したままケーブルやコネクタに触れると感電したり、ショートによる火災を起こしたりすることがあります。



指定のインタフェースケーブルを接続する

インタフェースケーブルは、弊社が指定するものを使用し、接続する本装置やコネクタを確認した上で接続してください。指定以外のケーブルを使用したり、接続先を誤ったりすると、ショートにより火災を起こすことがあります。

また、インタフェースケーブルの取り扱いや接続について次の注意をお守りください。

- 破損したケーブルコネクタを使用しない。
- 破損したケーブルを使用しない。
- ケーブルを踏まない。
- ケーブルの上にものを載せない。
- ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない。



指定の環境条件で使用・保管する

本装置を使用・保管するときは、次に指定する環境条件を必ずお守りください。指定以外の環境条件で使用すると、誤動作や故障の原因となります。

動作時	温度 : 5°C~40°C
	湿度 : 20%~80% (ただし、結露しないこと)
保管時	温度 : -20°C~60°C
	湿度 : 20%~80% (ただし、結露しないこと)

お手入れ・内蔵機器の取り扱いに関する注意事項



警告



分解・修理・改造はしない

絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。本装置が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。



リチウム電池を取り外さない

本装置内部にはリチウム電池が取り付けられています。電池を取り外さないでください。電池は火を近づけたり、水に浸けたりすると爆発するおそれがあります。

また、リチウム電池の寿命で本装置が正しく動作しなくなったときは、ご自分で分解・交換・充電などをせずにお買い求めの販売店または保守サービス会社に連絡してください。



電源プラグを差し込んだまま取り扱わない

お手入れや、本装置の取り付け／取り外しは、本装置および接続機器の電源を OFF にして、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

また、電源プラグはときどき抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったままで、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。



注意



高温注意

本装置の電源を OFF した直後は、高温になっていることがあります。十分にさめたことを確認してから本装置の取り付け/取り外しを行ってください。



中途半端に取り付けない

電源コードやインタフェースケーブルは確実に取り付けてください。中途半端に取り付けると接触不良を起し、発煙や発火の原因となるおそれがあります。

運用中の注意事項

注意



雷がなったら触らない

雷が鳴りだしたら、ケーブル類も含めて本装置には触れないでください。また、機器の接続や取り外しも行わないでください。落雷による感電のおそれがあります。



ペットを近づけない

本装置にペットなどの生き物を近づけないでください。排泄物や体毛が本装置内部に入って火災や感電の原因となります。



巻き込み注意

本装置の動作中は冷却用ファンの部分に手や髪の毛を近づけないでください。手をはさまれたり、髪の毛が巻き込まれたりしてけがをするおそれがあります。



高温注意

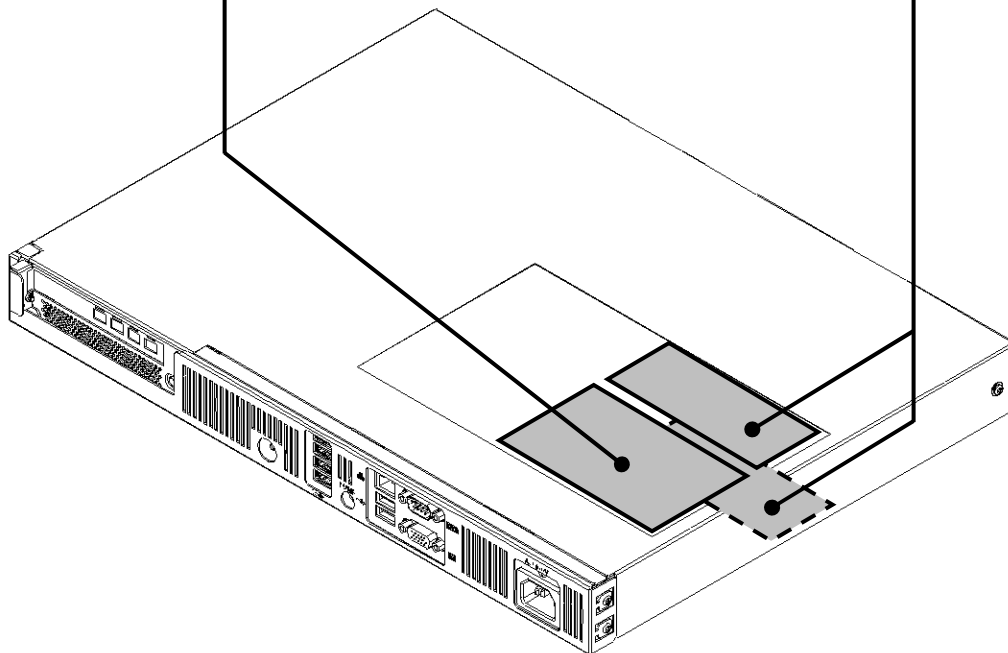
本装置の使用時や電源を OFF にした直後に PCI ボード周辺に触れないでください。高温となっている場合があります、火傷のおそれがあります。

警告ラベルについて

本装置内の危険性を秘める場所には、警告ラベルが貼り付けてあります。これは、本装置を取り扱う際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです(ラベルをはがしたり、塗りつぶしたり、汚したりしないでください)。もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどしている時は販売店にご連絡ください。

	警告 WARNING 경고	ПРЕДУПРЕЖДЕНИЕ ADVERTÊNCIA Avertissement
	<p>保守員以外の方は、装置を分解しないで下さい。感電など事故の原因となります。 Risk of electric shock - do not open. Qualified service personnel only. No user serviceable components inside.</p> <p> 非本公司的技術人員，請勿拆卸本設備。以免發生危險。 非专业维护人员严禁拆卸本设备。否则有触电危险。 보수원 이외는 장치를 분해하지 마십시오. 감전 등 사고의 원인이 됩니다.</p> <p>Опасность поражения электрическим током – не открывать. Только для квалифицированного персонала. Внутренние компоненты не подлежат обслуживанию пользователем.</p> <p> Risco de choque elétrico. Não abra. Somente pessoal de serviço qualificado. Não há nenhum componente no interior que pode ser manipulado pelo usuário. Ne pas démonter l'appareil sauf personnel de maintenance. Cela pourrait provoquer un choc électrique ou un mauvais fonctionnement.</p>	
	<small>243-203356-001</small>	

	落下注意 CAUTION 注意場下 防止滑落 낙하주의 ВНИМАНИЕ ATENÇÃO Attention, risque de chute
	<p>これ以上引くと落下します。 Firmly hold the bottom of the system When removing from the rack cabinet. 當移除機櫃時，務必固定系統底部以防止掉落。 慢慢抽出，防止设备从机架中滑落掉下。 더 이상 당기면 낙하합니다. Крепко удерживайте нижнюю часть системы при извлечении из стойки. Segure o fundo do equipamento firmemente ao retirá-lo do rack. Ne retirez pas l'équipement complètement du rack car il risquerait de basculer.</p> <div style="text-align: right;"></div>
	<small>243-203357-001</small>



取り扱い上のご注意 ～装置を正しく動作させるために～

本装置を正しく動作させるために次に示す注意事項をお守りください。これらの注意を無視した取り扱いをすると誤動作や故障の原因となります。

- 本装置の取り付け、取り外しや周辺機器へのケーブルの接続、取り外しは本装置およびディスプレイの電源が OFF になっていることを確認し、ディスプレイの電源コードをコンセントから外した後に行ってください。
- 本装置の電源を一度 OFF した後、再び ON にするときは 10 秒以上経過してからにしてください。
- 定期的には本装置を清掃してください。定期的な清掃はさまざまな故障を未然に防ぐ効果があります。
- オプションは本装置に取り付けられるものであること、また接続できるものであることを確認してください。たとえ本装置に取り付けや接続ができて正常に動作しないばかりか、本装置が故障することがあります。
- お客様による本装置の解体および改造を行った場合は、保証の対象外となります。
- 次の条件に当てはまる場合は、運用の前にシステム時計の確認・調整をしてください。

— 本装置の輸送後

— 本装置の保管後

— 本装置およびディスプレイの動作を保証する環境条件から外れた条件下で休止状態にした後

システム時計は毎月 1 回程度の割合で確認してください。また、高い時刻の精度を要求するようなシステムに組み込む場合は、タイムサーバ(NTP サーバ)などを利用して運用することをお勧めします。

システム時計を調整しても時間の経過と共に著しい遅れや進みが生じる場合は、お買い求めの販売店、または保守サービス会社に保守を依頼してください。

- 再度、運用する際、内蔵機器や本体を正しく動作させるためにも室温を保てる場所に保管することをお勧めします。

装置を保管する場合は、保管環境条件(温度: -20°C ~ 60°C、湿度: 20% ~ 80%)を守って保管してください。(ただし、結露しないこと。)

- 本装置のそばでは、携帯電話、PHS、タブレット端末などの電源を OFF にしてください。電波による誤動作の原因となります。

製品の譲渡と廃棄について

本装置または本装置に添付されているものを第三者に譲渡(または売却)、廃棄するときは、次の注意を守ってください。

- 本装置を第三者へ譲渡(または売却)するときは、装置に添付されている説明書一式(本書も含む)を一緒にお渡しください。



ハードディスクドライブ内のデータについて

譲渡する装置内に搭載されているハードディスクドライブに保存されている大切なデータ(例えば顧客情報や企業の経理情報など)が第三者へ漏洩することのないようにお客様の責任において確実に処分してください。

オペレーティングシステムの「フォーマット」コマンドでは見た目は消去されたように見えますが、実際のデータはハードディスクドライブに書き込まれたままの状態にあります。完全に消去されていないデータは、特殊なソフトウェアにより復元され、予期せぬ用途に転用されるおそれがあります。

このようなトラブルを回避するために市販の消去用ソフトウェア(有償)またはサービス(有償)を利用し、確実にデータを処分することを強くお勧めします。データ消去についての詳細は、お買い求めの販売店または保守サービス会社にお問い合わせください。

なお、データの処分をしないまま、譲渡(または売却)し、大切なデータが漏洩された場合、その責任は負いかねます。

- 本装置およびオプション製品の廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。



- 本装置のマザーボード上にあるリチウム電池の廃棄(および交換)についてはお買い求めの販売店または保守サービス会社までお問い合わせください。

- ハードディスクドライブ、バックアップデータカードリッジ、フロッピーディスク、その他書き込み可能なメディア(CD-R/CD-RW など)に保存されているデータは、第三者によって復元や再生、再利用されないようお客様の責任において確実に処分してから廃棄してください。個人のプライバシーや企業の機密情報を保護するために十分な配慮が必要です。

装置の輸送について

本装置には、リチウム電池(ボタン型)を1個使用しています(リチウムの含有量は1g以下)。


リチウム電池の輸送に関しては、航空・海上輸送規制が適用されますので本装置の航空機、船舶等での輸送については、輸送会社に「リチウム金属電池を組み込んだ機器」であることを伝えて、輸送会社の指示に従ってください。(指示に従わない場合には、航空法等の法令違反となることがあります。)

添付品の確認

本装置の梱包品の中には、装置本体以外にいろいろな添付品が入っています。梱包箱を開け、添付品がそろっていることを確認してください。万一、足りないものや損傷しているものがある場合は、販売店に連絡してください。

- 電源コード
- 電源コードクランプ
- ゴム足
- 使用上のご注意
- マニュアル CD
- インストール支援 CD
- 保証書

目次

 使用上のご注意 ～必ずお読みください～	ii
安全にかかわる表示について	ii
本書および警告ラベルで使用する記号とその内容	iii
安全上のご注意	iv
警告ラベルについて	x
取り扱い上のご注意 ～装置を正しく動作させるために～	xi
製品の譲渡と廃棄について	xii
装置の輸送について	xii
添付品の確認	xii
目次	1
はじめに	2
本書について	2
1. 各部の名称と機能	3
2. 設置と接続と基本操作	4
2.1. 設置エリアについて	4
2.2. 設置の準備	6
2.3. 卓上への設置	7
2.4. ラックへの設置	8
2.4.1. Express ラックへの取り付け／取り外し手順	9
2.4.2. ネットワークラックへの取り付け／取り外し手順	13
2.5. 接続	15
2.6. 基本操作	16
2.6.1. 電源の ON	16
2.6.2. 電源の OFF	16
3. ソフトウェアに関する注意事項	17
4. 日常の保守	20
4.1. バックアップ	20
4.2. クリーニング	20
5. トラブルシューティング	21
6. 装置仕様一覧	22
7. ユーザサポート	23
7.1. 製品の保証	23
7.2. 保守サービス	23

はじめに

このたびは、NA150MC をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

本装置の持つ機能を最大限に引き出すためにも、ご使用になる前に本書をよくお読みになり、装置の取り扱いを十分にご理解ください。

本書について

※本書は、本装置を正しく使用できるようにするための手引きです。日常使用する上で、わからないことや具合の悪いことが起きたときは、取り扱い上の安全性を含めてご利用下さい。

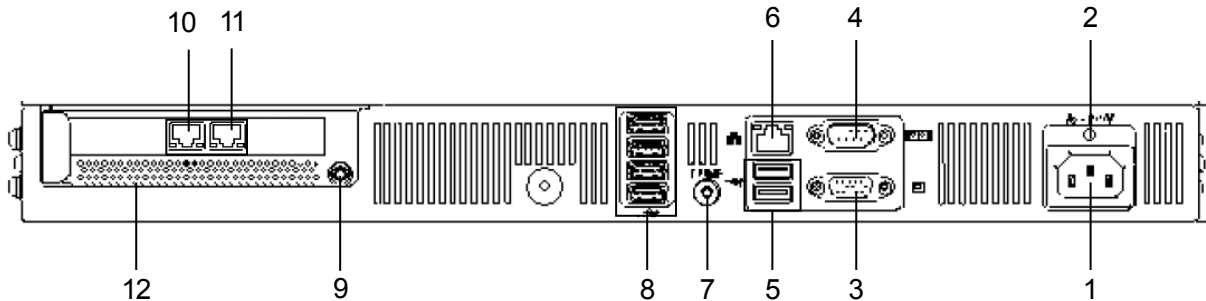
※本書は常に本装置のそばに置いていつでも見られるようにしてください。

本書は、キーボードやマウスといった一般的な入出力装置などの基本的な取り扱いについて、十分な知識を持ったユーザを対象として記載されています。

1. 各部の名称と機能

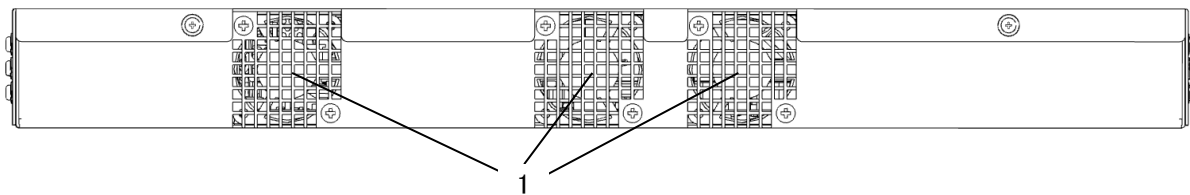
本装置の各部の名称と機能を次に示します。

装置前面



No.	名称	機能
1	電源コネクタ	添付の電源コードを接続する。
2	電源コードクランプ取り付け穴	添付の電源コードクランプを取り付ける。
3	モニターコネクタ(RGB)	アナログ RGB インタフェースを持つ機器との接続に使用する。
4	シリアルポートコネクタ	シリアルインタフェースを持つコネクタと接続する。
5	USB2.0 コネクタ	USB インタフェースを持つ機器との接続に使用する。
6	LAN コネクタ 1	LAN 上のネットワークシステムを持つ機器との接続に使用する。
7	ダンプスイッチ	押すと、メモリダンプを実行する。
8	USB3.0 コネクタ	USB3.0 インタフェースを持つ機器との接続に使用する。
9	電源スイッチ／電源 LED	電源の ON/OFF に使用する。 電源が ON の時に緑色に点灯する。
10	LAN コネクタ 2	冗長化機能をもつ OS を利用する際に接続して使用することができる。 ※ LAN コネクタ 2 は WOL (Wake On LAN) 機能をサポートしていません。
11	LAN コネクタ 3	冗長化機能をもつ OS を利用する際に接続して使用することができる。 ※ LAN コネクタ 3 は WOL (Wake On LAN) 機能をサポートしていません。
12	通気孔	筐体内部に外気を吸入する。

装置背面



No.	名称	機能
1	排気孔	冷却用ファンで筐体内部の熱を外部に排気する。

2. 設置と接続と基本操作

本装置の設置にふさわしい場所は、次のとおりです。
本装置をしっかりと持ち、ゆっくりと静かに設置してください。

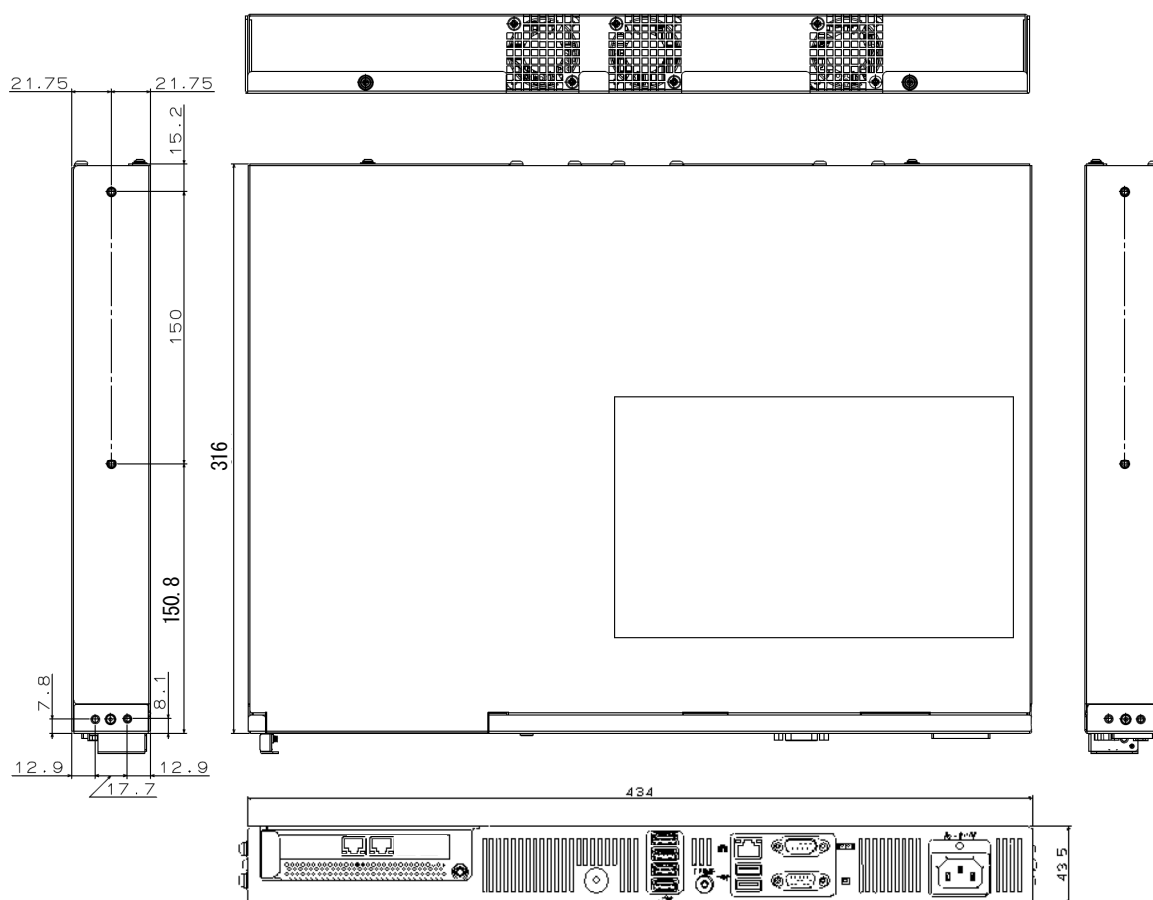
- 装置の動作時に室内温度が 5°C~40°C、および湿度が 20%~80%の範囲を保てる場所。
(室内温度 10°C~30°Cの範囲が保てる場所での使用をお勧めします。)
- AC100V、並行二極アースプラグ付きのコンセント。
- ほこりの少ない、きれいで整頓された部屋。
- 直射日光の当たらない場所。
- 安定した場所。
- 通気孔を塞がないような十分な設置エリアを確保できる場所。

2.1. 設置エリアについて

装置サイズは 434(W) x 316(D) x 43.5(H)mm(突起部、ゴム足含まず)ですが、保守、吸排気および装置底面のゴム足高さを含めた設置エリアを確保してください。

また、本装置をディスプレイ背面取り付けや重ね置き設置など、特殊な設置を行う場合は、販売店または保守サービス会社にご相談ください。

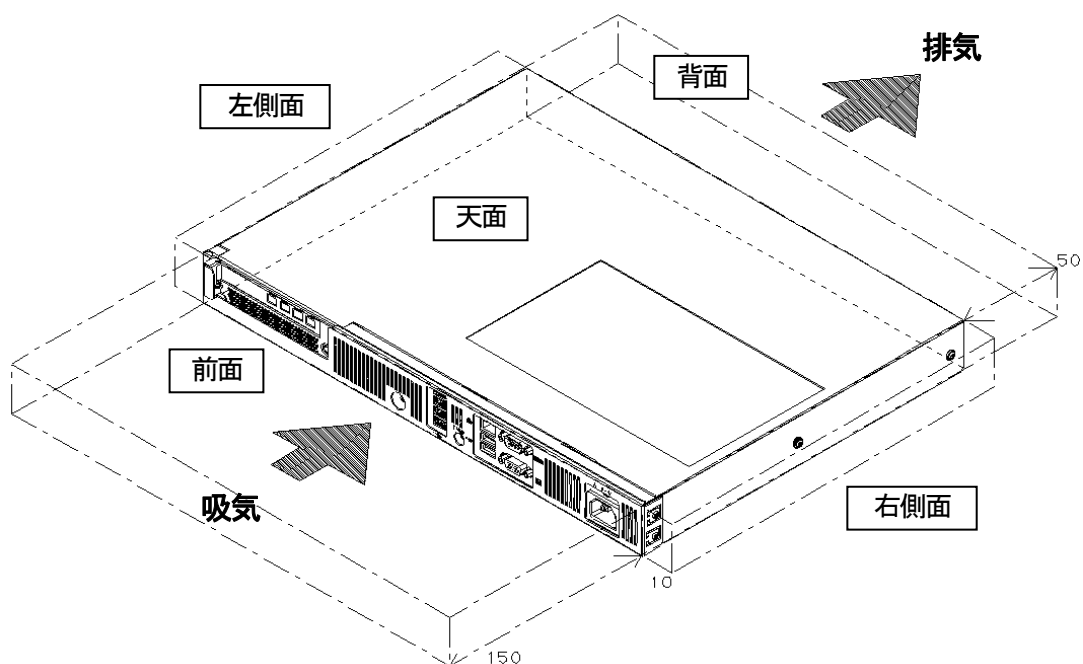
装置外観寸法



ねじ込み深さは 4mm 以下の M4 ネジを使用してください。ねじ込み深さが長いものを使用すると、誤動作や故障の原因となります。

装置設置時の設置エリア寸法

位置	必要な空間[mm]	備考
前面	150	I/O 側(ケーブル接続エリア含む)
背面	50	
天面	0	
底面	0	
右側面	10	
左側面	10	



次に示す条件に当てはまるような場所には設置しないでください。これらの場所に本装置を設置すると、誤動作や故障の原因となります。

- 温度変化の激しい場所(暖房機、エアコン、冷蔵庫などの近く)。
- 強い振動の発生する場所。
- 腐食性ガスの発生する場所(大気中に硫黄の蒸気が発生する環境下など)、薬品類の近くや薬品類がかかるおそれのある場所。
- 帯電防止加工が施されていないじゅうたんを敷いた場所。
- 物の落下が考えられる場所。
- 電源コードまたはインタフェースケーブルを足で踏んだり、引っ掛けたりするおそれのある場所。
- 強い磁界を発生させるもの(テレビ、ラジオ、放送/通信用アンテナ、送電線、電磁クレーンなど)の近く。(やむをえない場合は、販売店に連絡してシールド工事などを行ってください)
- 本装置の電源コードを他の接地線(特に大電力を消費する装置など)と共用しているコンセントに接続しなければならない場所。
- 電源ノイズ(商用電源をリレーなどで ON/OFF する場合の接点スパークなど)を発生する装置の近く(電源ノイズを発生する装置の近くに設置するときは電源配線の分離やノイズフィルタの取り付けなどを保守サービス会社に連絡して行ってください)。

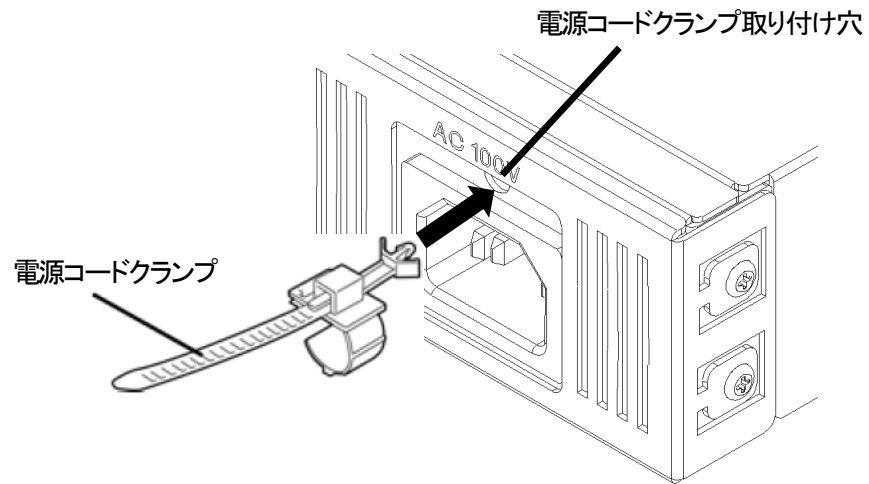
2.2. 設置の準備

本装置を設置する前に、必ず、添付の電源コードクランプを本装置の前面の取り付け穴に取り付けてください。



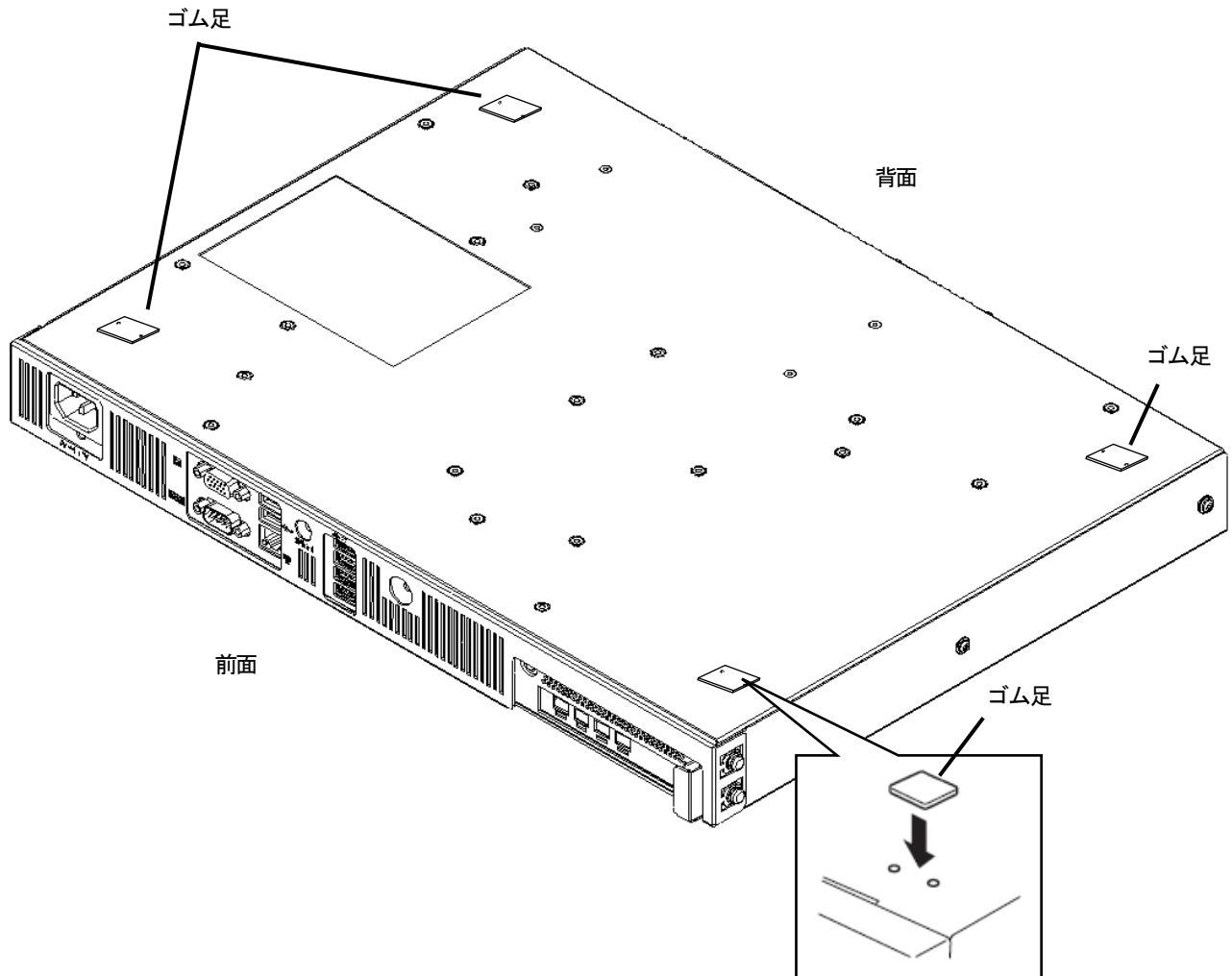
本装置を設置する前に、必ず、添付の電源コードクランプを本装置の前面の取り付け穴に「カチッ」とはまるまで差し込んで取り付けてください。

■電源コードクランプ取り付け方法



2.3. 卓上への設置

本装置を卓上に設置する場合は、添付のゴム足を本体底面に貼り付けてください。
設置場所が決まったら、本体の底面をしっかりと持って、設置場所にゆっくりと静かに置いてください。本装置は 2 台まで積み重ねておくことができます。



2.4. ラックへの設置

本装置はラックに設置することができます。ラックの設置作業は保守サービス会社に依頼することもできます。

次に示す条件に当てはまるような場所には、ラックを設置しないでください。これらの場所にラックを設置したり、ラックに本体を搭載したりすると、誤動作の原因となります。

- 本体をラックから完全に引き出せないような狭い場所。
- ラックや搭載する装置の総重量に耐えられない場所。
- スタビライザが設置できない場所や耐震工事を施さないと設置できない場所。
- 床に凹凸や傾斜がある場所。
- 温度変化の激しい場所(暖房器、エアコン、冷蔵庫などの近く)。
- 強い振動の発生する場所。
- 腐食性ガスの発生する場所(大気中に硫黄の蒸気が発生する環境下など)、薬品類の近くや薬品類がかかるおそれのある場所。
- 帯電防止加工が施されていないじゅうたんを敷いた場所。
- 物の落下が考えられる場所。
- 強い磁界を発生させるもの(テレビ、ラジオ、放送／通信用アンテナ、送電線、電磁クレーンなど)の近く。(やむをえない場合は、販売店に連絡してシールド工事などを行ってください)
- 本装置の電源コードを他の接地線(特に大電力を消費する装置など)と共用しているコンセントに接続しなければならない場所。
- 電源ノイズ(商用電源をリレーなどで ON/OFF する場合の接点スパークなど)を発生する装置の近く(電源ノイズを発生する装置の近くに設置するときは電源配線の分離やノイズフィルタの取り付けなどを保守サービス会社に連絡して行ってください)。

対応ラック一覧

本装置に対応するラックの一覧を以下に示します。ラック搭載時にはラックの関連オプションであるラックマウントブラケットをご使用ください。

以下に示す対応ラック以外(サードパーティ品など)への本体の搭載は、お客様責任となることをご了承ください。

対応ラック

Express ラック

—N8104-74	13U ラック
—N8104-92	36U ラック
—N8104-93	36U ラック(増設用)
—N8104-94	24U ラック
—N8104-98	44U ラック
—N8104-99	44U ラック(増設用)

ネットワークラック

—NW19N176IP(SP)	35U ラック
—NW19N196IP(SP)	39U ラック

オプション

—ZB-NA-EL1	ラックマウントブラケット (Express ラック用)
—ZB-NA-NL1	ラックマウントブラケット (ネットワークラック用)

2.4.1. Express ラックへの取り付け／取り外し手順



Express ラックへの取り付けの手順を以下に示します。取り外し手順については、取り付け手順の後で説明していません。


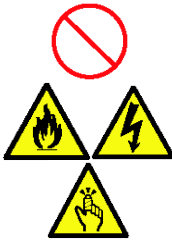
対応ラック

–N8104-74	13U ラック
–N8104-92	36U ラック
–N8104-93	36U ラック(増設用)
–N8104-94	24U ラック
–N8104-98	44U ラック
–N8104-99	44U ラック(増設用)

オプション

–ZB-NA-EL1 ラックマウントブラケット (Express ラック用)

 警告	
	<p>装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあります。詳しくは、ii ページ以降の説明をご覧ください。</p> <ul style="list-style-type: none">● 規定内のラックで使用する● 指定の場所で使用する

 注意	
	<p>装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあります。詳しくは、ii ページ以降の説明をご覧ください。</p> <ul style="list-style-type: none">● 落下注意● 装置を引き出した状態にしない● カバーを外したまま取り付けない● 指をはさまない



ラック内部の温度上昇とエアフローについて

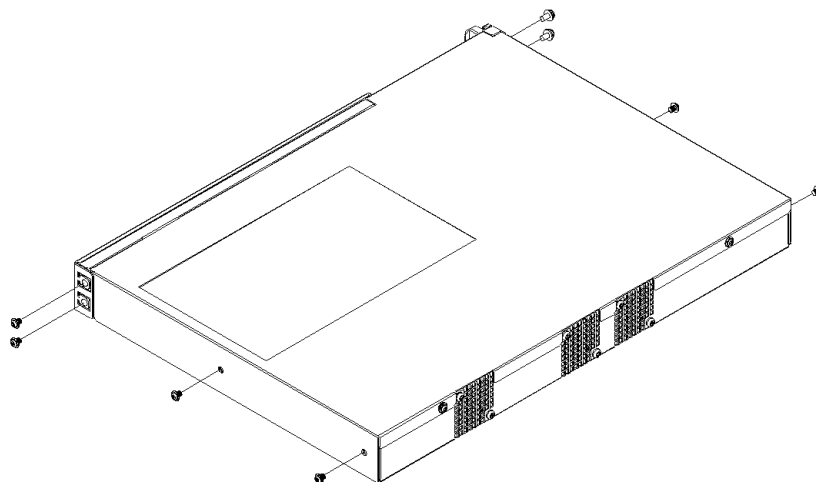
複数台の装置を搭載したり、ラックの内部の通気が不十分だったりすると、ラック内部の温度が各装置から発する熱によって上昇し、動作保証温度(5°C~40°C)を超え、誤動作をしてしまうおそれがあります。

運用中にラック内部の温度が保証範囲を超えないようにラック内部、および室内のエアフローについて十分な検討と対策をしてください。

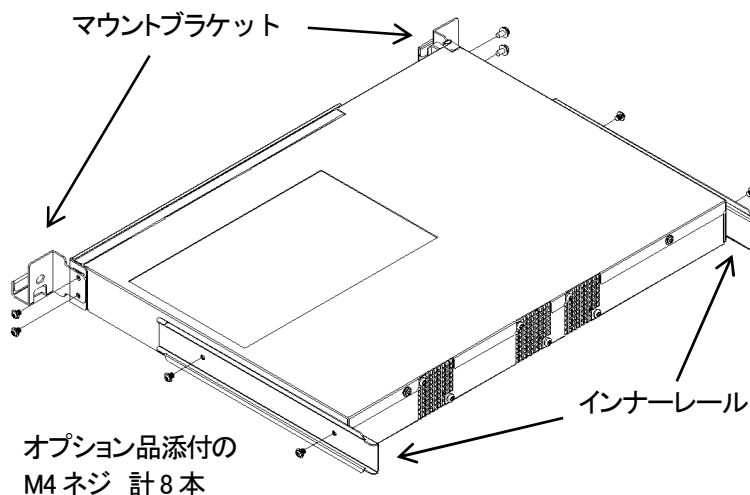
取り付け手順

次の手順で本体を Express ラックへ取り付けます。

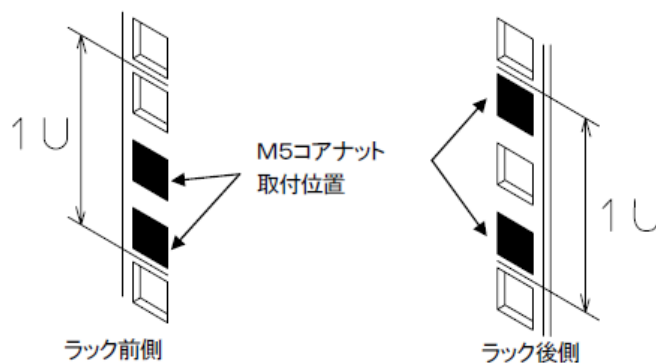
1. 本体装置の側面からフロントマスクを固定している M4 ネジ 4 本(左右各 2 本)とトップカバーを固定している M4 ネジ 4 本(左右各 2 本)を取り外します。



2. オプション品のインナーレールとマウントブラケットを取り付けます。
インナーレールとマウントブラケットはオプション品に同梱されている M4 ネジ 8 本を使用します。

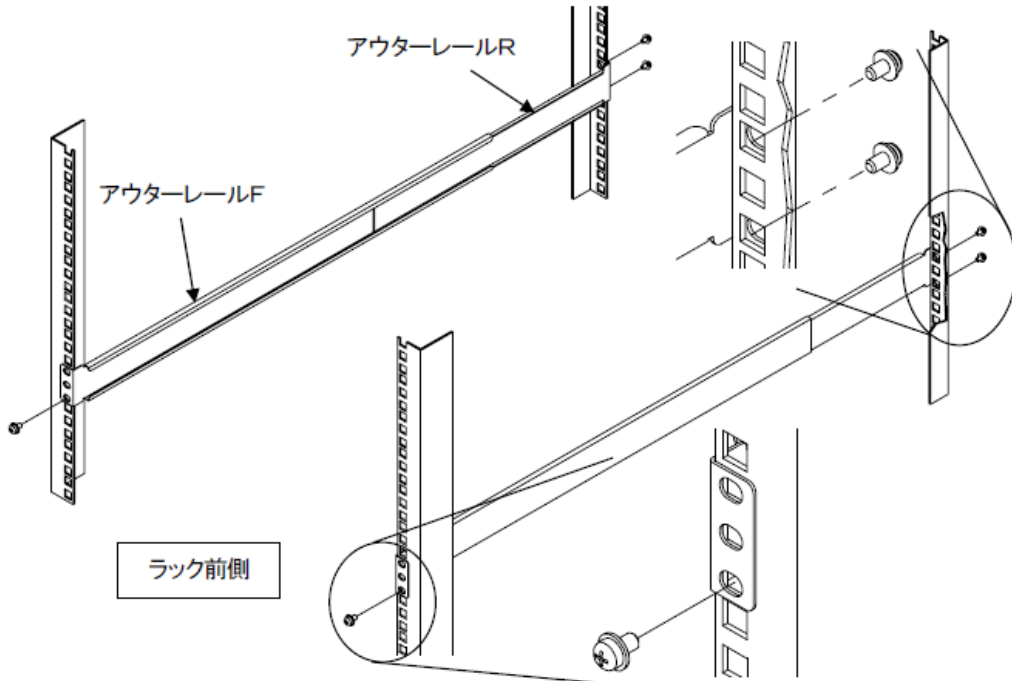


3. オプション品に同梱されている M5 コアナットを Express ラックの本体装置を搭載する位置に取り付けます。
ラックに添付されている M5 ネジ 4 本(左右各 2 本)で本体装置をラックへ取り付けます。



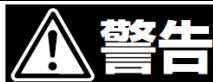
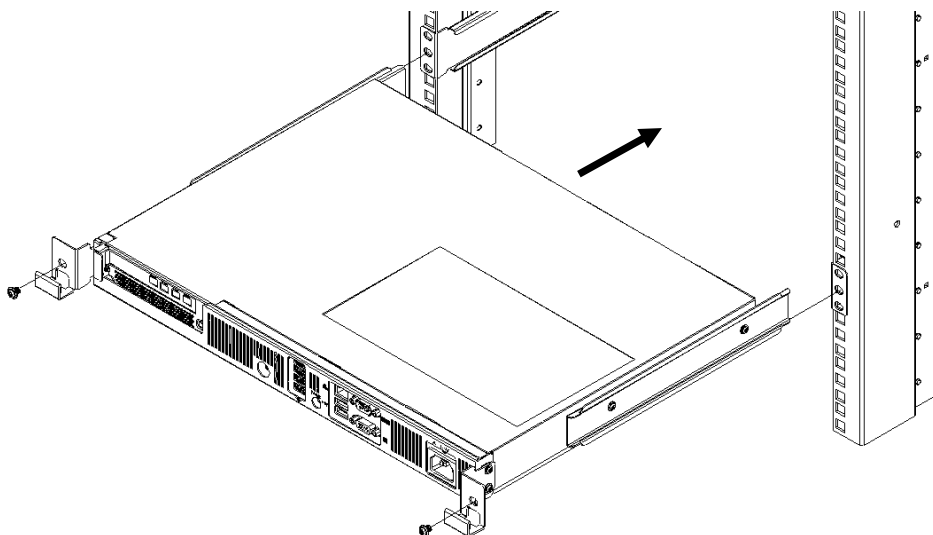
4. アウターレール F とアウターレール R をラックに取り付けます。
 アウターレール F をラック前側へオプション品に同梱されている M5 ネジ 1 本を使用して取り付けます。
 (3 個穴の一番下のみネジ止めします)。

アウターレール R をラック後側へオプション品に同梱されている M5 ネジ 2 本を使用して取り付けます。



- アウターレールの取り付け位置が左右で合っていることを確認してください。
- 本装置は 1U 規格ギリギリのサイズ(高さ)で設計されています。ラック取り付け時の誤差でラックへ設置しにくい場合があります。

5. 本体装置を Express ラックへ搭載する。
 オプション品に同梱されている M5 ネジ 2 本(左右各 1 本)を使用して取り付けます。



本体装置をラックへ取り付けの際は、2 人以上で作業を行ってください。本体装置を落としてけがをしたり、周囲の破損の原因となります。

取り外し手順

取り付け手順と逆の手順で本体をラックから取り外します。取り外しは2人以上で行ってください。



注意



装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあります。詳しくは、ii ページ以降の説明をご覧ください。

- 指をはさまない
- ラックが不安定な状態でデバイスをラックから引き出さない
- 落下注意
- 装置を引き出した状態にしない
- 複数台のデバイスをラックから引き出した状態にしない
- 動作中に装置をラックから引き出さない

2.4.2. ネットワークラックへの取り付け／取り外し手順




ネットワークラックへの取り付け手順を以下に示します。取り外し手順については、取り付け手順の後で説明しています。






対応ラック

- NW19N176IP(SP) 35U ラック
- NW19N196IP(SP) 39U ラック

オプション

- ZB-NA-NL1 ラックマウントブラケット (ネットワークラック用)

 警告	
 	<p>装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあります。詳しくは、ii ページ以降の説明をご覧ください。</p> <ul style="list-style-type: none">● 規定内のラックで使用する● 指定の場所で使用する

 注意	
   	<p>装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあります。詳しくは、ii ページ以降の説明をご覧ください。</p> <ul style="list-style-type: none">● 落下注意● 装置を引き出した状態にしない● カバーを外したまま取り付けない● 指をはさまない



ラック内部の温度上昇とエアフローについて

重要

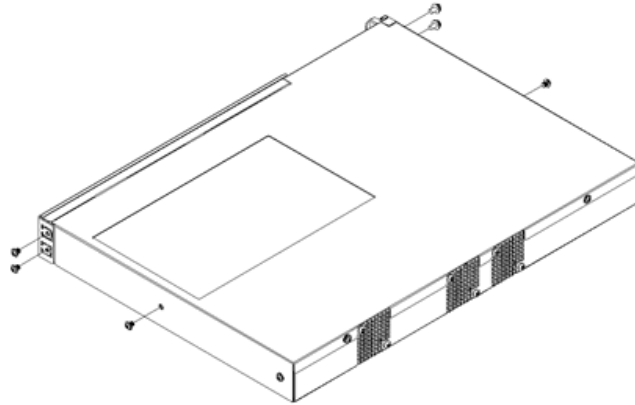
複数台の装置を搭載したり、ラックの内部の通気が不十分だったりすると、ラック内部の温度が各装置から発する熱によって上昇し、動作保証温度(5°C~40°C)を超え、誤動作をしてしまうおそれがあります。

運用中にラック内部の温度が保証範囲を超えないようにラック内部、および室内のエアフローについて十分な検討と対策をしてください。

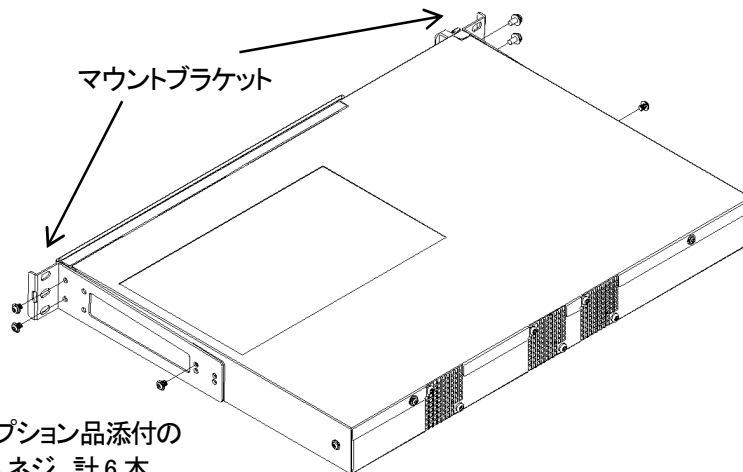
取り付け手順

次の手順で本体をネットワークラックへ取り付けます。

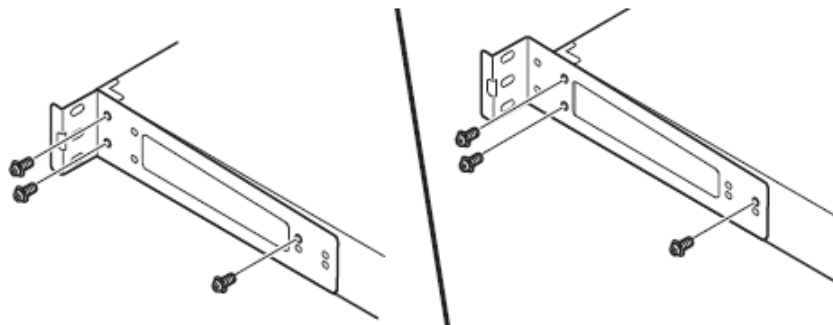
1. 本体装置の側面からフロントマスクを固定している M4 ネジ 4 本(左右各 2 本)とトップカバーを固定している M4 ネジ 2 本(左右各 1 本)を取り外します。





2. オプション品のマウントブラケットを取り付ける。
マウントブラケットはオプション品に同梱されている M4 ネジ 6 本を使用します




マウントブラケットの取り付け位置を変えることにより、ラックの搭載位置を 20mm 奥にすることができます。





3. 本体装置をラックに搭載する。
ラックに添付されている M5 ネジ 4 本(左右各 2 本)で本体装置をラックへ取り付けます。

 警告	
	本体装置をラックへ取り付ける際は、2 人以上で作業を行ってください。本体装置を落としてけがをしたり、周囲の破損の原因となります。

 重要	<ul style="list-style-type: none">● 本体装置の取り付け位置が左右で合っていることを確認してください。● 本装置は 1U 規格ギリギリのサイズ(高さ)で設計されています。ラック取り付け時の誤差でラックへ設置しにくい場合があります。
--	---


取り外し手順

取り付け手順と逆の手順で本体を標準ラックから取り外します。取り外しは 2 人以上で行ってください。

 注意	
	<p>装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあります。詳しくは、ii ページ以降の説明をご覧ください。</p> <ul style="list-style-type: none">● 指をはさまない● ラックが不安定な状態でデバイスをラックから引き出さない● 落下注意● 装置を引き出した状態にしない● 複数台のデバイスをラックから引き出した状態にしない● 動作中に装置をラックから引き出さない

2.5. 接続

本装置に周辺機器を接続します。本装置の前面には、さまざまな周辺機器と接続できるコネクタが用意されています。本装置が標準の状態では接続できる周辺機器とそのコネクタの位置は 1 項の「各部の名称と機能」を参照してください。周辺機器を接続してから添付の電源コードを本装置に接続し、電源プラグをコンセントにつなげます。

 チェック	電源コード接続直後は、自動的に電源が ON になり、数秒後自動的に OFF になります。
--	--

2.6. 基本操作

本装置の基本的な操作方法について説明します。

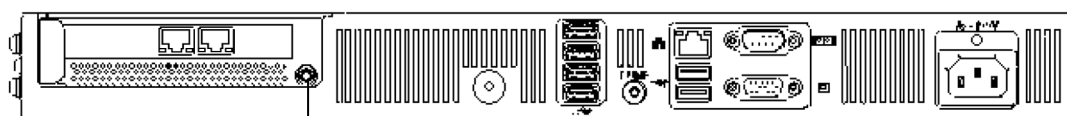
2.6.1. 電源の ON

本装置の電源は、装置前面にある電源スイッチを押すと ON の状態になります。
次の順序で電源を ON にします。



本装置の電源を ON にする前にディスプレイ、LAN などのインタフェースケーブルや周辺機器を本装置に接続し、ディスプレイや周辺機器の電源を ON にしてください。

1. 本装置の電源コネクタに電源コードを接続します。
2. 電源コードを接続すると電源スイッチが一度点灯し、消灯します。
消灯したことを確認してから、装置前面の電源スイッチを押します。



電源スイッチ



- 電源スイッチを押した後、電源スイッチの点灯、消灯を繰り返すことがありますが、製品仕様通りであり、故障ではありません。
- 停電が発生したときなどは保護回路が動作する場合があります。保護回路が動作すると電源 ON しても起動しないため、その場合は AC コンセントから電源コードを抜き (AC 入力を遮断する)、3 分～5 分経過後に再度電源コードを接続して、本装置の電源を ON してください。

2.6.2. 電源の OFF

次の順序で電源を OFF にします。

1. 本体装置の電源スイッチにより電源を OFF にします。
電源が OFF になると電源 LED が消灯します。
2. 周辺機器の電源スイッチを OFF にします。

3. ソフトウェアに関する注意事項

ライセンス通知

本装置の一部(システム BIOS)には、下記ライセンスのオープンソースソフトウェアが含まれています。

- EDK from Tianocore.org
- EDK2 from Tianocore.org
- UEFI Network Stack 2
- Crypto package using WPA Supplicant

ライセンス文

EDK form Tianocore.org

BSD License from Intel
Copyright (c) 2004, Intel Corporation
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- ・ Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- ・ Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- ・ Neither the name of the Intel Corporation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

EDK2 from Tianocore.org

BSD License from Intel
Copyright (c) 2012, Intel Corporation
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- ・ Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- ・ Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- ・ Neither the name of the Intel Corporation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE

FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

UEFI Network Stack 2

OpenSSL License

Copyright (c) 1998-2011 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (ey@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Crypto package using WPA Supplicant

WPA Supplicant

Copyright (c) 2003-2012, Jouni Malinen <jj@w1.fi> and contributors
All Rights Reserved.

This program is licensed under the BSD license (the one with advertisement clause removed).

If you are submitting changes to the project, please see CONTRIBUTIONS file for more instructions.

License

This software may be distributed, used, and modified under the terms of BSD license:

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name(s) of the above-listed copyright holder(s) nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

4. 日常の保守

本装置を常に最適な状態でお使いになるために、ここで説明する確認や保守を定期的に行ってください。
万一、異常が見られた場合は、無理な操作をせずに販売店または保守サービス会社に保守を依頼してください。

4.1. バックアップ

定期的に本装置内の大切なデータを市販のバックアップツールなどを利用してバックアップすることをお勧めします。
バックアップに必要な装置や条件などについてはバックアップツールの説明書などを参照してください。

4.2. クリーニング

本装置を良い状態に保つため、定期的にクリーニングしてください。

本体のクリーニング

本装置の外観の汚れは、柔らかい布でふき取ってください。汚れが落ちにくいときは、次のような方法できれいになります。



- シンナー、ベンジンなどの揮発性の溶剤は使わないでください。材質のいたみや変色の原因になります。
- コンセント、ケーブル、本装置前面のコネクタ、本装置内部は絶対に水などでぬらさないでください。

1. 本装置の電源が OFF (電源 LED 消灯) となっていることを確認する。
2. 電源コードをコンセントから抜き、本装置から電源コードを抜く。
3. 電源コードの電源プラグ部分についているほこりを乾いた布でふき取る。
4. 中性洗剤をぬるま湯または水で薄めて柔らかい布を浸し、よく絞る。
5. 本装置の汚れた部分を手順 4 の布で少し強めにこすって汚れを取る。
6. 真水でぬらしてよく絞った布でもう一度拭く。
7. 乾いた布で水気をふき取る。
8. 乾いた布で通気孔に付着しているほこりをふき取る。

5. トラブルシューティング

本装置が思ったように動作しないときは、修理に出す前に、次のチェックリストを参照して本装置をチェックしてください。リストに該当するような項目があるときは、記載の対処方法を試してみてください。それでも正常に動作しないときは、ディスプレイに表示されたメッセージを記録してから、保守サービス会社に連絡してください。

電源が ON にならない

電源が本装置に正しく供給されていますか？

- 電源コードが本装置の電源規格に合ったコンセントに接続されていることを確認してください。
- 接続したコンセントのブレーカが ON になっていることを確認してください。
- 装置前面の電源 LED が点灯していることを確認してください。

画面が表示されない

モニターケーブルが正しく接続されていますか？

本体の電源が自動的に OFF になった

通気孔が妨げられていませんか？

- 装置の温度が高くなりすぎた可能性があります。通気が妨げられていないか確認し、装置の温度が下がってから再起動してください。それでも電源が OFF になる場合は、お買い求めの販売店または保守サービス会社に連絡してください。

6. 装置仕様一覧

項目		NA150MC	
CPU		Intel® Core i5-4570TE (3.30GHz ※)	
Chipset		Intel® C226 Chipset	
Memory	Type	DDR3 non-ECC Un-buffered DIMM	
	Max	8GB (8GB x 1)	
Graphics		CPU 内蔵	
外部 I/O I/F	Serial	RS232C 1ch	
	Graphics	アナログ RGB 1ch	
	USB	USB 2.0	2ch
		USB 3.0	4ch
LAN	オンボード	10/100/1000Base-T 1ch	
	LAN ボード	10/100/1000Base-T 2ch	
BOOT デバイス	Interface	SATA III	
	容量	HDD 320GB	
拡張スロット	Type	PCI Express x16	
	スロット	1Slot (使用済み)	
OS		OS なし	
外形寸法 (W×D×H)		434 x 316 x 43.5 mm (突起物は含まない)	
質量		約 5kg	
電源(電圧・周波数)		AC 100V ±10% ・ 50/60Hz ±1Hz	
消費電力	電力	Max 62W	
	皮相電力	Max 63VA	
動作環境	温度	5°C~40°C	
	湿度	20%~80% (ただし、結露しないこと)	
保管環境	温度	-20°C~60°C	
	湿度	20%~80% (ただし、結露しないこと)	
規格		VCCI Class-B	

※ ターボブースト機能を有効に設定した時のみ (出荷時の設定は有効です)
OS 表示上は 2.70GHz と表示されます。

7. ユーザサポート

アフターサービスをお受けになる前に、保証とサービス内容について確認してください。

7.1. 製品の保証

本装置には「保証書」が添付されています。「保証書」は、販売店で所定事項を記入してお渡しますので、記載内容を確認の上、大切に保管してください。保証期間中に故障が起きたときは、「保証書」の内容に基づき無償修理いたします。



弊社製以外(サードパーティー)の製品、または弊社が認定していない装置やケーブルを使ったために起きた故障については、無償期間中であっても有償での対応になります。

製品の製造番号などが記載された銘板や、保守ラベルが天板に貼ってあります。銘板に記載の製造番号と保証書の番号が一致しているか確認してください。これらが一致していないと、保証期間内に故障したときでも保証を受けられないことがあります。万一違うときは、販売店まで連絡してください。

7.2. 保守サービス

保守は、弊社の保守サービス会社、および弊社が認定した保守サービス会社によって実施され、サービス契約の有無によって、次のような違いがあります。

契約保守サービス	サービスごとに契約していただき、契約期間中は、サービス内容に応じて保守するものです。さまざまな保守サービスメニューを用意しておりますので、弊社営業または販売店へお問い合わせください。
未契約修理	保守または修理料金はその都度精算する方式で、作業の内容によって異なります。

電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

高調波適合品

本装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品です。

:JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性—第 3-2 部: 限度値—高調波電流発生限度値(1 相当たりの入力電流が 20A 以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

回線への接続について

本製品は、電気通信事業法における端末機器の技術基準適合認定を取得していません。

電気通信事業者(NTT など)の通信回線設備に接続する場合は、事前に接続許可を取ってください。

また、設置する際には有資格者(工事担任者)による工事の実施等が必要となります。

電源の瞬時電圧低下対策について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置(UPS)等を使用されることをお勧めします。

日本国外でのご使用について

本装置は、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格等の適用を受けておりません。したがって、本装置を輸出した場合に当該国での輸入通関および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

本製品の輸出(非居住者への役務提供等を含む)に際しては、外国為替及び外国貿易法等、関連する輸出管理法等をご確認の上、必要な手続きをお取ください。

ご不明な場合、または輸出許可等申請手続きにあたり資料等が必要な場合には、お買い上げの販売店またはお近くの弊社営業拠点にご相談ください。

保守サービスについて

本装置は、弊社が提供する保守サービスを受けられることをお勧めします。

保守サービスメニューにつきましては、弊社担当営業へお問い合わせください。

商標について

Intel、インテル Core は米国 Intel Corporation の登録商標または商標です。
その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

- (1) 本書の内容については万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきのことがありましたら、弊社担当営業へご連絡ください。
- (2) 弊社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益などの請求に関しましては、(1)に関わらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- (3) 本装置は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、弊社製品の故障により、人身事故、財産損害などが生じても、弊社はいかなる責任も負いかねます。

NA150MC

取扱説明書

2016 年 10 月 1 版

NEC プラットフォームズ株式会社
〒436-8501 静岡県掛川市下俣 800 番地
TEL (0537) 23-1111

落丁、乱丁はお取り替えいたします。

© NEC Platforms, Ltd. 2016

NEC プラットフォームズ株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。

本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。